

# 質的転換答申に関する取組の進捗状況について①

参考資料1

答申における指摘等 (【 】内は取組が求められた組織)		現進捗状況	(※) 今回の審議事項
内部 質保 証の 確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学位授与方針(育成する能力の明示)の下、体系的な教育課程(P)→教員同士の役割分担と連携による組織的な教育(D)→学生の学修成果等の評価(C)→教育課程や教育方法等の更なる改善という改革サイクルを確立。【大学】</li> <li>○全学的な教学マネジメントの下での改革サイクルの確立を促進するため教学に関する制度の見直しを図る。【文部科学省】</li> <li>○教育課程の参照基準等の策定・活用の促進【大学支援組織、文部科学省】</li> <li>○分野別質保証の取組を支援。【文部科学省】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○私立大学等改革総合支援事業(H26年度予算201億円)、大学教育再生加速プログラム(AP)(H26年度予算10億円)などの基盤的経費や補助金等の配分等を通じて改革サイクルを支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全学的な方針(アドミッション・ポリシー等)の策定に関する大学設置基準の改正について審議中。</li> </ul>
情報 発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「大学ポートレート(仮称)」による大学情報の積極的発信の促進【大学支援組織】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大学ポートレート(仮称)準備委員会の議論を経て、本年度中に稼働を予定。</li> <li>○公表項目等の改善については、運営委員会において今後議論を実施。</li> </ul>	
評価 の改 善	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学修成果の重視、多様なステークホルダーの意見の活用、評価業務の効率化等による認証評価の改善【大学支援組織】</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○学修成果に関する評価の規定の創設等、認証評価の細目省令の改正について審議中。</li> <li>○法改正等によって対応すべき事項については、引き続き審議。</li> </ul>
FDの 充実 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育方法に関する技術の向上に資する充実したFDの実施及びFDに関する専門家の養成等【大学】</li> <li>○FDや教育課程の専門家養成に関する調査研究を実施【文部科学省】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大学間連携共同推進事業(H26年度予算26億円)等による調査研究を実施。</li> </ul>	

## 質的転換答申に関する取組の進捗状況について②

答申における指摘等 (【 】内は取組が求められた組織)		現進捗状況	(※) 今回の審議事項
就職	○就職活動の早期化・長期化の是正【地域社会・企業等】	○学修時間の確保、留学等促進のための、2015年度卒業・修了予定者から就職・採用活動開始時期を後ろ倒し	
高大接続	○高等学校教育、大学入学者選抜、大学教育の一体的な見直しについて審議。【中教審】	○中央教育審議会に高大接続特別部会を設置し、審議中。	
ガバナンス	○プログラムとしての学士課程教育を定着させるため、ガバナンスの在り方等を審議。【中教審】	○大学分科会の下に組織運営部会を設置し、審議結果を取りまとめ。(H26.2.12) ○審議まとめも踏まえ、学長のリーダーシップ確立等のための学校教育法等の一部改正を実施。 ○審議まとめを踏まえ、SDや高度専門職等について、大学設置基準の改正を審議中。	
短期大学	○短期大学士課程の在り方について検討。【中教審】	○大学教育部会の下に短期大学WGを設置し、審議結果を取りまとめ。(H26.8.6)	